

2025年5月1日

**【SUPER GT 第2戦 / 富士スピードウェイ】  
大会直前情報**

2025年のSUPER GTは、5月3日(土・祝)、4日(日・祝)にゴールデンウィーク恒例の富士大会を迎えます。

開幕戦となった岡山大会では、GT500クラスは「リアライズコーポレーション ADVAN Z(松田次生選手/名取鉄平選手)」が予選3位、「WedsSport ADVAN GR Supra (国本雄資選手/阪口晴南選手)」が予選5位とシングルグリッドを獲得。決勝レースはいずれもトラブルやアクシデントに見舞われましたが、力強い走りで見ごたえあるレースを展開しました。

また、GT300クラスでは「グッドスマイル 初音ミク AMG(谷口信輝選手/片岡龍也選手)」がポールポジションを獲得。決勝レースでは「ANEST IWATA RC F GT3(イゴール・オムラ・フラガ選手/安田裕信選手)」が2位、「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R(ジョアオ・パオロ・デ・オリベイラ選手/平手晃平選手)」が3位に入り、富士大会では2台はそれぞれ40kg、32kgという名譽のサクセスウェイトを搭載して3時間という長丁場の戦いに挑みます。なお、「リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R」はオリベイラ選手が他レースとの日程重複により欠場、代わって金丸ユウ選手が平手選手とコンビを組むこととなります。また「グッドスマイル 初音ミク AMG」は開幕大会ではペナルティにより順位を下げてしまいましたが、ポテンシャルの高さは十分に見せており、富士大会にも期待がかかります。

以下、各チームを代表してコメントをいただきました。

**【GT500クラス】****■ 国本雄資選手(WedsSport ADVAN GR Supra)**

開幕戦は不安定なコンディションで、序盤はウォームアップ、ペースともに苦しい状況でしたが、以前と比べるとコンスタントに走ることができ、ライバルよりもいいペースを見せられる場面もありました。後半スタントではダンプ路面をドライタイヤで走行し、非常に良いペースで追いつけることができました。残念ながら接触によりリタイヤとなってしまいましたが、今後につながる力強いレースができたと思っていますし、シーズンオフのタイヤ開発の方向性が正しいことを確信できました。

富士は3時間レースで作戦の幅が狭いため、各スタントをコンスタントに走り切る必要があります。自分自身もベストな走りができるように精いっぱい戦い、たくさんの方の皆さんの前で良いレースができるよう頑張ります。

**■ 松田次生選手(リアライズコーポレーション ADVAN Z)**

岡山大会では、構造、コンパウンド含めて非常に良いフィーリングを得られました。特に予選(ドライ)でのグリップが良く、ノーウェイトでの3番手という結果はとてもポジティブでしたし、今シーズンの幸先のいいスタートが切れたと思っています。決勝はマシントラブルがあり結果が出ませんでしたが、ドライでのベストタイムは速かったため、ドライコンディションでレースができていればかなり良いポジションでゴールできたと感じていますし、今後につながるレースになりました。

富士では岡山大会の勢いのままレースがしたいですね。表彰台圏内でのゴールを目指し、3時間レースをノートラブル、ノーアクシデントでしっかりと走り切りたいです。チーム一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。

**【GT300クラス】****■ 片山右京監督(グッドスマイル 初音ミク AMG)**

開幕戦は予選でポールポジションを獲得でき、決勝レースではいったん7番手に下がりましたが、そこからポジションを回復していくことができました。スリックタイヤに履き替えたタイミングは良かったのですが、トップ集団に比べると少しペースが足りず4位という結果でした。

次の富士は AMG GT3 の性能調整(BoP)が比較的有利に設定されるため相性が良く、チームにとっても過去に上位入賞を何度もしている得意なコースです。今シーズンはチームの雰囲気も良いので、ここで大量得点してははずみをつけたいと思っています。今回もしっかり集中していきます。

■ イゴール・オムラ・フラグ選手(ANEST IWATA RC F GT3)

岡山ではラッキーな展開もあり 2 位表彰台を得ることができました。僕が担当した前半は雨で気温も低く、タイヤに熱が入りづらく、非常につらい状況でした。しかし、段々と乾き始めてタイヤが機能し始めるとペースも上がり、ヨコハマタイヤのライフも良く、50 周目でピットストップを引っ張ることができました。結果的にこれが表彰台獲得につながったと思います。富士は気温も上がりそうなので、僕らにとっては非常に良い状況になると思います。今年のヨコハマタイヤとレクサス RC F の相性は良く、テストから調子も良いので期待してください。

■ 平手晃平選手(リアライズ日産メカニックチャレンジ GT-R)

岡山では難しいコンディションが目まぐるしく変わる中、チームの素晴らしい判断と、しっかりパフォーマンスを発揮してくれたヨコハマタイヤのおかげで、開幕戦からいい流れを掴むことができました。この結果は、シーズンを戦っていくうえで本当に大きな意味を持つと思っています。富士スピードウェイではテスト段階から GT-R とヨコハマタイヤの相性が非常によく手応えを感じているサーキットなので、個人的にもかなり楽しみにしていますし、1 年の中でも特に気合いが入るレースのひとつです。GT-R×ヨコハマタイヤパッケージの強さを発揮できるよう、全力で挑みますので、熱い応援をよろしくお願いします！

第 2 戦富士大会は 3 時間レースという長丁場。ヨコハマ装着勢の戦いにご注目ください。

